

2025年2月27日

MIRARTHホールディングス株式会社

## MIRARTH ホールディングスグループの温室効果ガス排出量削減目標 「SBT (Science Based Targets)」認定を取得

MIRARTHホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、2024年3月に改訂した温室効果ガス排出量削減目標に関し、国際的な気候変動イニシアチブであるSBTi（Science Based Targets initiative）より、「SBT (Science Based Targets)」※の認定を取得したことをお知らせいたします。



※ SBT (Science Based Targets) : パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2°Cを十分に下回る水準（Well Below 2°C:WB2°C）に抑え、また 1.5°Cに抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～10年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

出典：環境省ホームページ

[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/files/SBT\\_syousai\\_all\\_20210810.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/files/SBT_syousai_all_20210810.pdf)

### ■温室効果ガス排出量削減目標

Scope1+Scope2	2030年度までにGHG排出量を2022年度比で70%削減
Scope3	2030年度までにGHG排出量を2022年度比で45%削減

※ Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（都市ガス等燃料の燃焼）。

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。

Scope3：Scope1, 2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）。

■温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量

区分	活動内容	2020 年度	2021 年度	基準年		単位：t-CO <sub>2</sub>
				2022 年度	2023 年度	
Scope1	事業者自らの直接排出	374	380	609	540	
Scope2 ()内はロケーション基準	他社からの電気等の間接排出	1,584 (1,674)	1,696 (1,719)	2,984 (3,026)	1,651 (1,779)	
	小計 (Scope1+Scope2)	1,958	2,076	3,593	2,191	
Scope3	カテゴリー1 購入した製品・サービス	335,928	298,820	291,900	306,544	
	カテゴリー2 資本財	69,384	28,492	32,092	41,291	
	カテゴリー3 Scope1・2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	300	327	576	701	
	カテゴリー4 輸送、配送（上流）	0	0	0	0	
	カテゴリー5 事業から出る廃棄物	2,596	2,744	2,595	3,490	
	カテゴリー6 出張	153	169	183	194	
	カテゴリー7 雇用者の通勤	290	321	348	370	
	カテゴリー8 リース資産（上流）	-	-	-	-	
	カテゴリー9 輸送、配送（下流）	-	-	-	-	
	カテゴリー10 販売した製品の加工	-	-	-	-	
	カテゴリー11 販売した製品の使用	301,745	321,303	271,413	222,241	
	カテゴリー12 販売した製品の廃棄	4,892	4,517	3,946	4,767	
	カテゴリー13 リース資産（下流）	13,194	10,984	13,315	7,534	
	カテゴリー14 フランチャイズ	-	-	-	-	
	カテゴリー15 投資	0	0	0	0	
	小計 (Scope3)	728,482	667,677	616,368	587,132	
	合計 (Scope1+Scope2+Scope3)	730,440	669,753	619,961	589,323	

※ 温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量の算定対象範囲は、MIRARTH ホールディングスグループ（連結 10 社）です。

※ 対象期間は 2020 年度～2023 年度（2020 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）です。

※ Scope1 は燃料の燃焼（ガス・灯油・ガソリン）、Scope2 は電気・冷水の使用を集計しています。

※ Scope1・2 は、2022 年度から、電気・ガス等利用のバウンダリー拡大で、集計対象を追加しています。

※ Scope2 の 2023 年度の値に関しては、再エネ利用をした（FIT 非化石証書を含めた）CO<sub>2</sub>排出量です。

※ Scope3 は、2023 年度より精緻化を図るために一部算定方法の見直しを行っています。また、2022 年度以前は、一部推計値です。

※ 当社グループでは CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス（フロンガス等）は極めて微量のため除外し、CO<sub>2</sub>のみを算定・報告しています。

<関連情報>

- ・温室効果ガス排出量削減における中長期目標改訂のお知らせ～ 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、取り組みを推進～

<https://mirarth.co.jp/news/pdf/20240329.pdf>

- ・サステナビリティサイト 環境データ

<https://mirarth.co.jp/sustainability/environment/data/>

## ■ 当社グループの環境への取り組み

当社グループでは、サステナビリティの取り組みを中長期的な成長に向けた重要戦略であると捉え、中期経営計画にて「ESG（環境・社会・ガバナンス）への積極対応」を掲げております。環境への取り組みとして、エネルギー事業に参入した2013年以降、全国で数多くのメガソーラー発電所の開発を手掛け、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギー事業を推進することで、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献してまいりました。

また、2023年5月には「中長期エネルギー事業戦略」を策定し、太陽光発電施設の開発やオペレーションを通じて、環境改善・エネルギー自給率向上・遊休地の活用をはじめとした地域活性化に貢献していくとともに、風力発電やバイオマス発電事業への取り組み等、カーボンニュートラルの実現に向けて更なる再生可能エネルギーの供給に取り組んでまいります。

今後も、「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」のパーカスのもと、すべてのステークホルダーとの対話を通じて、社会課題の解決に貢献するとともに、ESGを意識した事業運営と価値創造を推進してまいります。

〈関連情報〉

▼MIRARTHホールディングスのサステナビリティの取り組み

<https://mirarth.co.jp/sustainability/>

## ■ 会社概要

商 号： MIRARTH ホールディングス株式会社  
代 表 者： 代表取締役 島田 和一  
所 在 地： 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F  
設 立： 1972年9月  
事 業 内 容： グループ会社の経営管理等  
資 本 金： 9,056百万円  
U R L： <https://mirarth.co.jp>

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

MIRARTH ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション室 グループ広報課

担当：和田

Mail : gr.koho@mirarth.co.jp